



福島県いわき市の米屋から

～生まれてはじめて、桜の花が目に入らなかった～

福島県いわき市小名浜
株式会社相馬屋
代表取締役

佐藤 守利

(全国棚田(千枚田)連絡協議会個人正会員)

△3・11福島県いわき市、震度6V

3月11日、14時46分、マグニチュード9.0の巨大地震が発生した。いわき市は震度6。今まで経験したことのない大きな揺れが、長い時間続いた。玄米を保管する低温倉庫の内では、15t(30kg×50袋)単位の玄米をのせてあるラックという金属の棚がアメのように折れ曲がり、4万袋の玄米が崩れ落ちた。1200tの下敷きになった者がいなかったことが不幸中の幸いであった。

配送に出ている5名とは連絡が取れない。社内にはいた15名の従業員を駐車場に集めた。30分後に「津波が来る」という情報が入った。海から2km離れているが、1人を近くの川を監視するよう指示した。雪も降ってきた。

30分はアツという間だった。津波が川を逆流して昇ってきた。船まで押し流されてきた。ここは津波の被害はまぬがれた。だが、津波は8回ほど来て、3回目の波で命を落とした人が多いと聞いた。

家に残した家族と連絡が取れず、泣き出す社員も出てきたので、全員を帰宅させた。

翌12日、15時36分、東京電力福島第一原発1号機水素爆発が起きた。翌13日の日曜日は定休日であったが、倉庫の復旧作業のため、社員13名が出社した。スパーもコンビニも閉店しているため、不安から人々が次々と店に押し寄せた。通常の10倍以上の来客である。水道が出

ないなか、皆、泥だらけで働いた。

翌14日の3号機の水素爆発で、いよいよ緊迫した心理状態の人が増えた。関東や北陸へ自主避難した社員が数名。連絡なしで避難した社員も数名。行政からは何の指示もなく、皆不安のなか、デマも流れた。海に流された車からガソリンを抜く人々。コンビニやATMから現金を奪う人々。昭和33年生まれの私が学生時代に聞いた関東大震災のときと同じ風景がそこには、あった。

残された社員で、精米と配送、店の営業を続けた。病院や老人ホームへの米の

納品もあり、休むわけにも、逃げるわけにもいかないのだ。

△届けられた支援物資に涙して▽

地震発生から4日後、福井県の米卸会社ライズの樋田社長から軽油2000ℓ、飲料水4000ℓとます寿司が支援物資として届いた。断水が続く、ガソリンスタンドが閉店しているなかでのことだ。嬉しかった。社員皆で感謝の涙を流しながら、ます寿司を食べた。

3月22日にヤマト運輸が「営業所止め」で再開した。県外のお客様へも、な

んとか納品できると思ったが、すでに風評被害が拡がっていた。露骨に受け取りを拒否する量販店もあった。輸出していたアメリカと台湾からは、強く拒否された。

ヤマト運輸の営業所には、全国の同業者や学生時代の友人から、たくさんの方の支援物資が届いた。ガソリンを20ℓの赤缶に入れ、200ℓも長野県から寝ずに届けてくれた人もいた。

感謝で、その都度、皆で泣いた。

△4・11 再び震度6V

取引先へは、同位体研究所に依頼した放射性ヨウ素131とセシウム134・137の検査結果を提出し、冷静な判断を求めた。

4月11日夕方、また震度6の地震に襲われた。震源地はいわき市だった。やっと復旧が一段落した倉庫の玄米がまた、崩れてしまった。停電と断水のなか、なすすべもなく、途方に暮れた。

3月11日の津波で亡くなった方、行方不明の方がいわき市内だけで300人を

越えるのに、この地震でも土砂崩れで亡くなる人があった。

桜の花が「目に入らなかった」のは、生まれてはじめてのことだった。

「値引きせよ!」「精米工場を西日本に移転せよ!」「相馬屋とは原発を連想するから社名を変更せよ!」「1年間死んでくれ!」等々、長年取り引きして信頼していた人たちの口から聞くのは、悲しかった。

市内の篤農家で組織する「いわきアグリ研究会」の33軒は、すべて平年どおり田植えを終えた。福島県からの許可が遅れ、皆不安だった。

◎

震災から3ヶ月が過ぎ、連日、余震が日に何度と続き、原発事故収束もまだ見えない。若い社員が4名、いわきを捨てて県外に引越すため、退職した。

ライフラインが復旧した今、困っていることは2つ。

①3・11で崩れた22年度の玄米が混ざってしまったこと。赤米・黒米・有機米・ミルクークイーン・新潟の棚田米コシヒカリなどが混ざってしまった。33tにのぼる。

②今秋、収穫される福島県産の特別栽培や有機米が風評被害にあった場合、他県の特別栽培や有機のミルクークイーンやコシヒカリの生産者をどうやってたずねあてたら良いだろうか。

◎

後ろを振り返らず、まっすぐ前を見て一歩、一歩、歩いていきたい。

相馬屋のみなさん。
写真1列目中央が、佐藤守利さん。6月29日撮影

